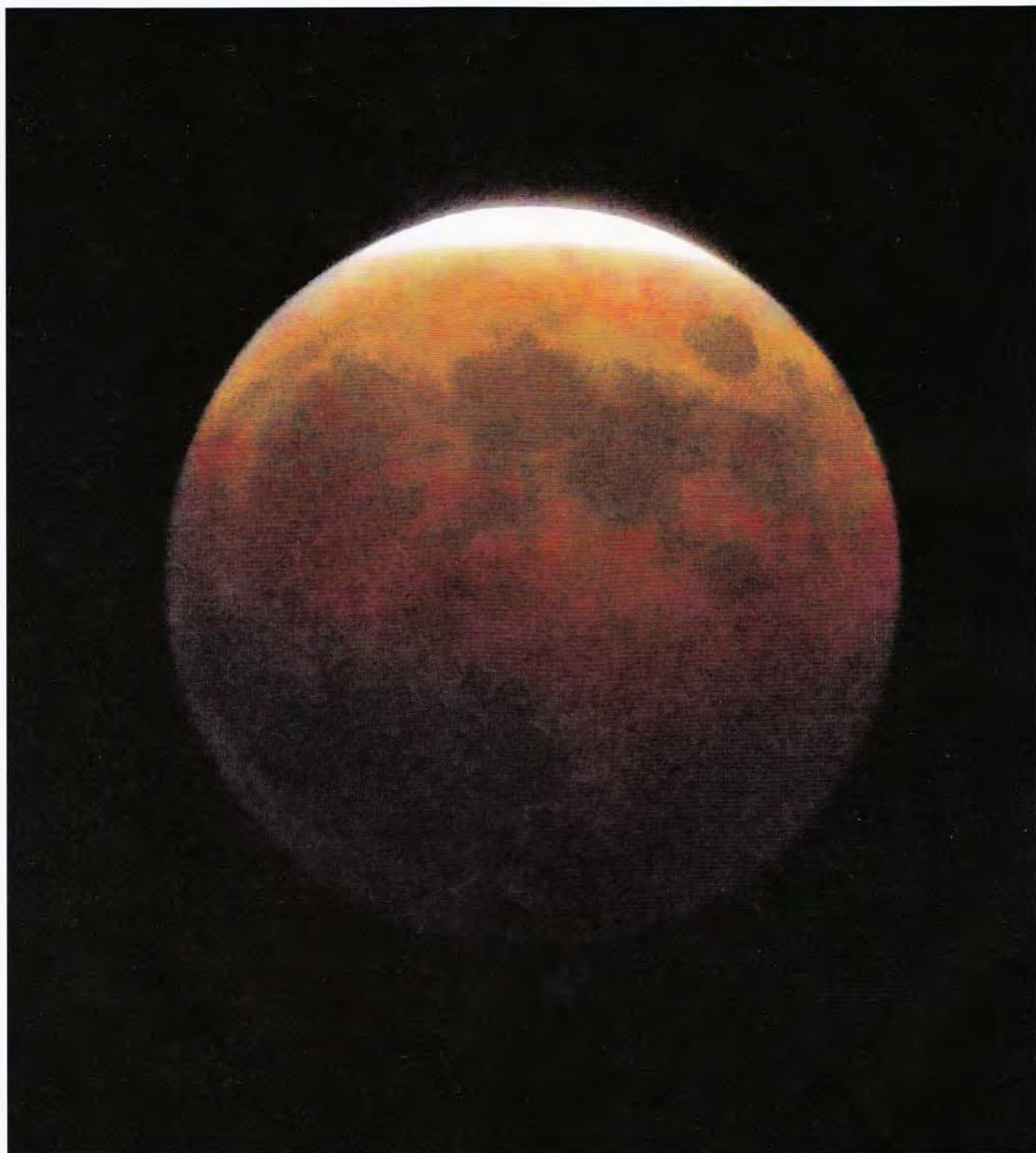




公益社団法人芦屋市シルバー人材センター

# はつらつ 芦屋

2015・1 No.19



ホームページアドレス <http://www.sjc.ne.jp/ashiya/>

芦屋市シルバー

検索

TEL 0797-32-1414 FAX0797-31-9223

芦屋市上空で見られた皆既月食 平成26年10月8日  
午後7時30分 フジフィルム一眼レフカメラを使用  
ズーム500ミリ 撮影 笹部 成雄(会員番号873)

み役に立ちます。シルバーパワー

設立20周年記念大会

## 平成26年度 兵庫県シルバー人材センター事業推進大会

●主催 公益社団法人 兵庫県シルバー人材センター協会 ●共催 兵庫県各シルバー人材センター ●後援 兵庫労働局・兵庫県

安全「ゼロ運動」  
最優秀賞を受賞

恒例の兵シ協の事業推進大会が10月22日、設立20周年を迎えて神戸市松方ホールで盛大に行われました。

同協会主催の「事故ゼロ運動」で、芦屋市シルバーは無事故記録（傷害事故）が565日（8月31日）。現在も更新中で、最優秀賞の栄に輝きました。

向井節子安全委員長が代表で、<sup>せり</sup>川会長から表彰状を受ける（写真左）と、満員の会場は大きな拍手に包まれました。

役員表彰では、服部耀会員が永年役員8年の表彰を受けました。

また、事例発表は当センターの傾聴グループ國吉まち子代表が、「はつらつコール」の活躍を披露。要旨は下記の通りです。



## 事例発表

## 傾聴グループ「はつらつコール」

## 兵庫県デビュー

そもそも傾聴グループを立ち上げた時から、傾聴事業を全国のシルバーが導入してくれることを願って、傾聴グループの基本方針にも明記しているくらいです。

何故なら、高齢者の話し相手には、時代背景が大なり小なり似通っている私たちが一番ぴったりなんです。「そうそう、そんなことがありましたね。」「それであなたはその時どうされたんですか?」という風に、共通事項が多いので話も弾みます。相手の方からすれば、やっと話しが通じ合える人と出会ったと、喜んで貰え、元気が出るきっかけとなります。

傾聴には、「分かって貰える」というのが一番大切。その役割をシルバーが担えば、認知症予備軍がずっと予備軍のままではいられますか?そんな期待を込めて、傾聴事業の広がり第一歩になるかも知れない機会を、兵シ協の設立20周年の事業推進大会で発表させていただくという榮譽をいただきました。

当日は、なぜ傾聴グループを立ち上げたのか、その目的、「思いは、孤独な高齢者のこころを支援」から始まっ



た」から説明し、次に、「なぜ有償にしたのか、有償化の目的。それはひとえに、事業の継続を望むからです。有償であれば、利用者は訪問した会員が気に入らなければ断ることが出来るので、断られないためには高度な傾聴力を身につけた会員を送りこみます。それが、結果的に事業の継続につながると思った話。次いで、傾聴訪問の事例を紹介。最後に、参加している県内シルバー人材センターの会員に対して、皆さんも導入しませんかと訴えました。

嬉しいことに、関心を寄せられた明石・豊岡・西宮のシルバーから研修の依頼が入っていて、傾聴事業の導入に結び付くのかどうか期待しているところです。

國吉まち子（会員番号1589）

# 認知症サポーターって知っていますか？

# 認知症を考える！



地域支援委員会による会員対象の「認知症サポーター養成講座」（無料）が社会福祉士でもある認知症キャラバンメイト、三島久美子氏を講師に迎え9月2日（火）、「はつらつ館」で開催され21名が受講しました。

認知症についての正しい知識を持つために事例紹介のビデオ学習のあと、テキストで「認知症とは？」「認知症の治療」「認知症の予防についての考え方」、など10項目について学習しました。受講者には「オレンジリング」がサポーターのしるしとして渡されましたが、芦屋市では平成26年3月末現在、5423人（重複者含む）が登録されています。

全国では平成24年現在、認知症の方は約462万人、予備軍の方は約400万人となっており、高齢者3079万人の27%になっていることも報告され、家事支援や他の就業の場や私たちの日常生活の中で認知症の方とどう接すればよいか、また徘徊を見かけた時「お手伝いしましょうか？」「どうかさされましたか？」というように「声がけ」すればいいことなど有意義な内容でした。

時間や日程の関係で受講できなかった会員、そして新入会員の方々に次回講座も予定しております。Q & Aの時間もあり、多くの方の受講をお奨めします。

取材 鈴木 一生

全世界で4435万人。中でも日本は、軽度認知症の予備軍を含め、65歳以上の4人に1人という世界有数の「認知症大国」です。早くからこの問題に取り組んできた芦屋市シルバーは、昨年にも二つの講座を開催して対策を考えています。

## ご存じですか 「若年性認知症」

65歳未満で発症する認知症「若年性認知症」（傾聴グループ）は「はつらつコール」主催）についての市民公開セミナーが昨年11月15日に開催された。

「認知症の妻が教えてくれたこと」と吉田正巳氏、「ひょうご若年性認知症生活支援相談センターの活動紹介」清水美代子氏、「若年性認知症の当事者、家族支援を通して、サロン、デイケアの取り組みから」土橋光伸氏の各講師、テーマで講演。

若年性認知症発生から8年、妻を介護されている立場から吉田氏は、病状を知るだけではケアができるものではない、妻の不安や悔しさ、身体で表す言葉を受け止め、人に光をあてたケアを心がけている。病状が進行しても心は生きていくと強く伝えておられた。

専門相談員の清水氏からは、相談センターでの相談支援、社会への啓発、支援者の育成、本人・家



左から 講師 橋本 清水 吉田



取材 加古 良子

# 秋の行事



清掃ボランティア (10月18日)



アートパズル (10月4日・芦屋美術博物館)



子どもフェスティバル (11月1日・川西体育館)



兵シ協主催のシルバークフェスティバルが昨年度に続いて、「デュオこうべ」で10月25、26日、開催されました。

今年度は兵シ協設立20周年で、兵庫県下の各シルバークが参加して、抽選会・餅つき・歌や大正琴の演奏・元気なシルバークのファッションショー(ギンコレ)を開催。手作り小物・新鮮野菜等が店開き、ふすま張り・刃物砥ぎの実演もあって会場は大賑わい。

芦屋シルバークも手作りの衣類、袋物、手芸品を出品(写真下)。各シルバークの紹介では「売れ行きは順調です」と、にこやかなインタビュー(写真左)でした。



会場を沸かせた元気いっぱいシルバークのファッションショー





養父市シルバー人材センターの社屋で打ち合わせ



手塩にかけた野菜の数々



やぶ米が実る「ふれあいシルバー農園」

# 温石米の故郷 おんじやくまい 養父市シルバー人材センター 農の匠を訪ねる

お米の栽培に適した「蛇紋岩地帯」で、会員が心を込めて栽培。「もっちり」として「甘い」ご飯に炊き上がります。



9月5日、養父市シルバー人材センターを訪ねるべく雨模様の中を北田常務理事と一緒に「シルバーやさい広場」の会員の車に便乗させていただき、事務所を出発した。

途中、雨に降られ天候を心配したが目的地に近づくにつれ、美しい秋空が広がってまったく雨の心配はない。出発から2時間30分ほど到着。

早速、2階の会議室に案内され、久保田常務理事、山下事務局次長、中尾係長と挨拶のあと、当センターの北田常務理事が訪問の趣旨を説明、続いて河村理事から

野菜販売の現状と課題を具体的に説明された。

養父市シルバー人材センターからは、農作物の生産状況や扱いについて詳細な説明があった。

この地域には、轟大根や朝倉山椒など沢山の名産品がある。ゴボウや大根、ニンジン、ピーマン、ほかに農産物の加工品など実際に農作物や商品を見せて頂き、栽培に対する姿勢や思いをお聞きした。

「野菜は虫に食われるぐらいが安全で美味しい」との説明に納得。無農薬で糠や貝殻粉などで

だいた。

鹿よけのネットが張られた広々とした田んぼには稲穂が重く頭を垂れていた。田んぼに立つシルバー人材センターの看板がまぶしい。

養父市シルバー人材センターの設立は平成5年10月2日、現在会員数442名、職群は植木剪定部会、福祉部会、襖・障子部会、運転部会、農業部会、草刈部会の6つである。

現在、当センターとは温石米の取引はあるが、野菜なども含めお

作った肥料で栽培している稲には雀が他の稲田を飛び越えて集まってくるとの話に、安全で美味しいお米は雀さえ分かるのかと驚く。

説明の後、実際に田んぼやビニールハウスを案内していた

その後の経過

この訪問の後、養父市シルバー人材センターとの取引が成立、安心で安全な野菜が順調に入荷しています。

「シルバーやさい広場」

☆毎週木曜日、左記の場所で開催しています。

販売時間9～14時  
(完売次第終了)

① 西芦屋町ポケットパーク  
(山手幹線・西芦屋交差点北)

② 翠ヶ丘町ポケットパーク  
山手幹線・翠ヶ丘集会所  
東側二つ目交差点  
会員ばかりでなく一般の方も  
お誘い合わせの上ご利用ください。

詳細は8ページ上段参照

取材 岩崎 準一

## 紀行 ☆ 寄稿 ☆ 奇行 ?

## シベリア放老記

「バイカル湖のそばの草原に寝転んで空を眺める」これが、私の青春時代の夢のひとつだった。

一昨年の六月、ウラジオストツクから一人でシベリア鉄道に乗って、サンクトペテルブルクに向かった。

車中に三泊して、シベリアのパリと言われるイルクーツクで途中下車し、翌朝ガイドのアナスタシアと地元のカナダ人バスでバイカル湖を目指した。



日本人墓地

バスを降りて寒さに驚いた。湖水温度が低く、湖北部はまだ凍っているとのこと。水中の石を拾うと氷のように冷たい。湖畔に立って見ると、はるか彼方まで芒洋として不思議な懐かしさが漂っていた。

かねてから、目的にしていた日本人墓地に行くため、寒村の坂道を登って行った。



アナスタシア(ガイド)と

「友よ安らかに眠れ」と墨書された碑が静寂の中にあつた。大陸晴れの下、滴る新緑の林を吹き抜けていく風。

私は心の中で呟く。(日本から遥かに遠く、冬は酷寒の地に連れてこられ、深い望郷の思いの中で亡くなられた大勢の同胞。幾度、希望と絶望を繰り返されたことだろう)

「悔しかったでしょう」とご冥福を祈りつつ墓標を見つめた。

ふと、昔の軍歌の一節が口からもれた。

♪ 友は野末の石の下・・・  
そして、お経を朗々と詠みだし  
筈が、体が震え、堰を切ったように  
心の奥底から何かがこみ上げて  
きて声にならない。

あるがままの声というより、うめくように、喉から声を絞り出し  
諷誦(ふうじゆ)した。

私の後に佇んでいたアナスタシアが真剣かつ感動の表情を浮かべて、不思議そうに質問した。

「今のはどんなことを言っていますか」

浅学のまま、私は般若心境の説明をした。

彼女は、「そうですか」と一言だけいった。



バイカル湖

その顔には、彼女なりの精神世界に浸っている表情が現われていた。

シベリアの奥地で、昨日会ったばかりのロシア人の娘さんと、七十歳近い日本の老人とが、こんな話が出るこのご縁に、私はすっかり陶醉しきっていた。

中嶋 壽雄

(会員番号 1937)

# 親王塚のカラス

三谷 千尋  
(会員番号 1199)

可愛い七つの子がいるカラスは夕日を背にして山に帰るのであるが、我が町親王塚町の上空では、夕暮れが迫る頃、数百羽のカラスが集結して旋回し、日没と共に親王塚の森の中に消えてゆく。

親王塚に移り住んで約20年。ここ数年来特にその数が増えて、朝晩の鳴き声がるさくなつたと感じるのは私だけであろうか。

朝は日の出と共に三々五々森を飛び立ち、芦屋市の彼等の縄張りの地へ向かうようであるが、何処へどのカラスが毎日飛んでゆくのかはだれも知る由もない。

ところが、夕暮れは違う。その日の定刻が近付くと、親王塚の森より南にあるマンションの屋上にあちこちに、帰って来たカラスたちが姿を見せ、其処で暫く待機する。

見ていると次から次へと集まつて来て、どの屋上も黒い塊が出来る頃、誰の合図によるのか、一斉に声を上げて飛び立ち、親王塚の上空に向かうのである。

台風のように左回りに旋回しながら大きな大群の輪になつて、日が沈むまで飛び続ける。その間の鳴き声のうるさい事、

この上もない。

ところでこのカラス一体、益鳥なのか害鳥なのか。数が増え過ぎる点からは害鳥なのではないか。その理由の第一は、うるさいからである。

特に子育ての冬から初夏にかけては、一晚中休むことなく鳴く子がいる。森からでて来て鳴くので睡眠妨害となる。

第二は、ごみの日の生ごみあさりである。ごみネットの掛け方が悪い置き場を知っていて。何時も路上にごみを散乱させている。

それは、子育てをしている親子に餌を自分で取る訓練をする練習場でもある。カラスの親子は大きさが同じな

ので解りにくい。親は電線の上から子に降りて一人で行くよう見守っているのである。

そして、第三の理由は、一昨年からの親王塚町では、ツクツクボウシの鳴く声が全く聴けなくなつたことである。

5年以上地中で暮らすセミの幼虫が絶滅したのかも知れない。数の多いクマゼミもそのうちに絶滅するかも。地中から出て羽化するまでに、カラスに食べられてしまったのではないかと想像している。

害鳥の数を減らす対策が望まれるのであるが、誰も手を出そうとはしない。鹿・熊・猪・猿の害と同じである。

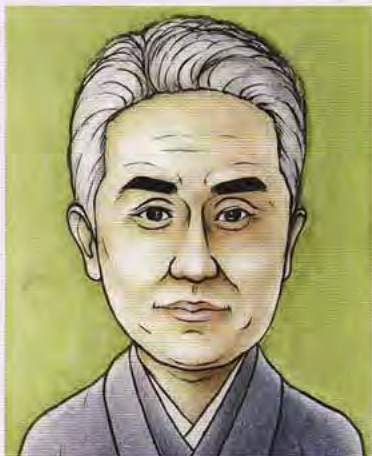
## 似顔絵



坂田藤十郎



坂東玉三郎



中村勘三郎

故竹野勝久様の「コケコマ」漫画に代りまして、今号から似顔絵コーナーを連載する事になりました。尚モチーフは様々な分野で活躍されている方を対象とし、色々な描き方で顔の表情や雰囲気が見え出さないか試行錯誤をしております。会員の皆様にも少しでも知っていただければ幸いです。絵画クラブ「サリカ」会員

澤田邦洋

# ワーク・ア・ラ・カルト

## シルバーやさい広場

高齢者生活援助事業、屋外での野菜販売が立ち上がりました。事務局に宣伝チラシの配布やお客さまに渡す野菜のレシビ（調理法）を作った全面的にバックアップしていただき、西芦屋町と翠ヶ丘町、のポケットパークにて「やさしい広場」の名称で新鮮な野菜を販売。6

月から7人のメンバーでミーティングを重ね、JA兵庫六甲より朝採れ野菜を仕入れることが決まり、7月31日いよいよ新規開店の運びとなりました。

当初は対面でお客さまに物を買っていただくことなど無縁の会員ばかりで戸惑いがありました。が、そこは年の功！直ぐに慣れてきました。

更に、10月後半からは養父市シルバー人材センターからの無農薬野菜を入荷、販売も始まり就業会員の意欲もますます高まり、威勢の良い掛け声も飛び交い「寄ってらっしゃい、見てらっしゃい」「わた

くし無農薬野菜、生まれも育ちも、兵庫県養父市です、円山川で産湯をつかい、・・・「寅さんばりの口上まで滑らかに出てくるようになりました。ある時は「奥さん、買わなくていいですよ、見るだけでもいいから」と呼びかけると「私は、買いに来たのです」と叱られた失敗談も。

そして、お買い上げの後には必ず「ありがとうございます、来週もお越しくださいるのをお待ちしております」と声掛けします。就業会員にとって何より嬉しいのは「美味しかった」とお客さまに言っていただく事で、なよりの励みになります。お馴染みさんも出てきて地域の方々と触れ合いながら会話が弾みます。

「やさしい広場」がますます繁盛しつつ癒しの場となってくれことを願います。

北條 時雄（会員番号11194）



## 加門 KAMON

### 広島焼・鉄板焼

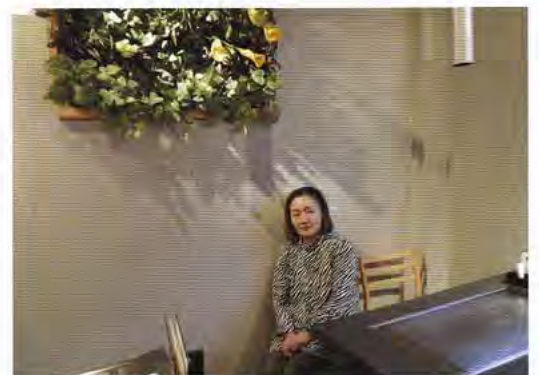
### 芦屋のグルメ



大阪、粉浜で16年続いた人気店、広島焼「加門」が2号線の歩道橋南へすぐの所に昨年8月に移転オープンしました。

高校時代に食べたお好み焼きの味が忘れられず、広島焼きと知り、その味を再現したく何度も広島へ行き、鉄板とバーナー、焼き方に工夫を重ねた結果が大阪での評判となったようです。

お店の特徴は、広島焼きの注文を聞いてから一人前ずつ生麺を茹でます。この一手間が風味と美味しさの決め手となり、さらに野菜



店主の濱田真由美さん

たっぷりヘルシーな出来上がりも嬉しいことです。麺が半分のメニューもあります。が、本物の味は大のサイズなのでそちらを食べてほしいと言われていました。

メニューは他に大阪風のお好み焼きはもちろん、ねぎ焼きや沖繩の塩焼きそば、蒜山焼きそば、すじ煮込みや貝柱のソテイなどがあります。

取材 加古 良子



広島焼 大 1,080円

芦屋市茶屋之町1-1 第1ブラウンビル1F TEL FAX 0797-35-8603  
営業時間 11:30~LO 14:30 18:00~LO 22:00 定休日 月曜日



# 健康の秘訣

年を経て・・・

赤松 光さんの巻

(会員番号2228)

世間では百歳を越えても、お元気で活躍されている方も大勢いらつしやるのに、未だ八十代の私  
が長寿というのはおこがましいのですが、思いつくまま書いています。

とにかくのんびりした性格で、くよくよすることなく、人に気を使うことなく過ごしてきました。大きな声を出すことも無く、好きな事だけをして、嫌な事にはなるべく手を出さない、嫌な事はなるべくすぐ忘れてしまいうようないい加減な性格です。

家に籠らず外に出て、いろいろな方と会い、手仕事をしながらおしゃべりするのも楽しんでいきます。おいしい物を食べに行くのも好きですが、だんだん量が減るのは淋し

## くよくよせずに、のんびりと・・・

いです。

長く芦屋に住んで、美しい山や青い海にかこまれて穏やかな地でのんびり暮らせるのは幸せです。交通の便がよく、世界中に行けるのに、骨折して歩くのが不自由になったのが残念です。

花こもの班や編み物同好会など、今でもセンターに出入りして、若い方々のお話を聞いているのも若返りの一つだと思っています。生きていく限り何か人の役に立つことができると思うのも生きがいになると思います。



# やまびくツキんご

## 和風つくね

「はつらつキッチン班」のレシピ



### 材料 (2人分)

れんこん輪切り	4枚	片栗粉・酒	大さじ各1
鶏ひき肉	200g	ごま油・しょう油・砂糖	各小さじ1。サラダ油少量
青じその葉	10枚	とき卵	1/2個
ねぎ	1/3本		
しょうが	1片		
青じそ・ミニトマト		大根おろしを添える	

### 作り方

「はつらつキッチン班」が昨年9月第1回「おやじクッキング」のメニューから「和風つくね」(写真手前)を紹介しています。鶏とれんこんがマッチ、うす味で美味しく栄養価もある料理です。添え物は小松菜の煮びたし、じゃこなす、白菜とほたてのスープ。

ボウルに鶏肉を入れ、細切りの青じそ、ねぎ、しょうがのみじん切りと合わせる。片栗粉・酒・しょう油・砂糖と、とき卵を入れ、粘りの出るまで練り混ぜる。5センチの円形に整え薄切のれんこんに張り付ける。フライパンに油をいれ、中火で色がつくまで4〜5分焼き、裏返し、1/8カップの水を加える。水がなくなるまで焼き上げる。

# 住みよい街にする為に

「行政相談とはいったい何を相談したらよいのかわからない！」と言う声を聞きます。行政相談委員法に基づく制度について理解を深めていただくために、10月24日、勉強会を開催しました。

この制度は、国民にとって気軽に親しみやすい行政相談の窓口として、行政に対する声を幅広く吸収し、改善を図るべく創設されました。行政相談委員は総務大臣の委嘱を受けた民間ボランティアで、国の行政に関する苦情や意見、要望を受け関係機関に必要なあつせんを行い、その解決や実現を促進し、これを行政制度及び運営の改善に反映するものです。

業務範囲は、国の行政や特殊法人の業務についての相談に応じ、申出人に必要な助言を行い総務省、または関係機関等に苦情、要望を通知します。しかし、申し出人は事案が国の事務に関するものか、地方公共団体の事務に関するものか区別するこ

とが困難な場合が多いため、住民に密着した地方公共団体の業務も受け付け、県の機関や、市町に連絡し解決の推進を図っています。

行政相談委員は全国に約5千人、兵庫県内に167人、芦屋市に2人が配置されており、平成25年度全国で受け付けた件数は16万件、うち行政相談員が9万2千件を受け付けました。因みに芦屋市では15件の苦情、要望が有りました。

事例の内、道路、保険、年金、社会福祉が上位を占めています。このことから行政相談を難しく考えないで、日々の生活の中において①不便だなと思うことや②役所が行う手続き、サービスについて説明や事務の取り扱いに納得できない③制度や仕組みがわからないなどの事案について気軽に相談を受けてみてはいかがでしょうか。

芦屋市では、行政相談委員による行政相談所を毎月第3水曜日の午後1時～4時まで、「お困りです課」の相談室で開設しています。相談は無料、秘密厳守、予約不要です。

理事長 山村 昇  
(芦屋市行政相談委員)

## 開店 はつらつ写真館

右肩上がりの躍進で、仕事の種類も多岐にわたる芦屋市シルバリーに「はつらつ写真館」を開店。事業の仲間入りをする事になりました。

永年スタジオでプロとして活躍した宮崎会員をメインに、デジタルの黒住会員、報道カメラマンの笹部会員の3人でスタート。昨年末、会員を対象にした肖像写真の撮影を2回開催して、好評をいただきました。

撮影当日、4メートル余の背景

「はつらつ写真館」の案内をみて「Face book」の顔写真用に使えないかと思ひ応募したところ、なかなかの出来栄でした。また、昨年3月に天寿をまっとうした父の遺作の仏像たちを自分で撮ろうと思っていましたが、なかなか時間がなく「はつらつ写真館」に依頼することにになりました。開店おめでとうございます。

小間 敏子会員  
(会員番号2043)

と3台のストロボ照明を設営し、頑丈な三脚にセットされたのはプロ仕様の高級カメラ。総て宮崎会員がスタジオで現役の時使用していた機材で、はつらつ館の大会議室は立派な写場に早替わり。

黒住会員がパソコンで映像を再現、お好みの表情を選べるサービスにも喜んで頂いたようです。

グラフィックデザイナーの佐々木会員の参加で、パンフやポスター製作の体制も整いました。一般の方々の要望にもお応え出来る独自事業に発展出来ればと願っております。

はつらつ写真館一同



お好みのスタイルで小間会員を撮影



バス2台で紅葉と晴天に恵まれ、高速道路を北に向かって2時間ほど走ると、ゆったり流れる円山川に出ます。偶然にも入り口近くの川沿いに一羽の羽先の黒いコウノトリが近く飛び立つのか、堤を散歩しています。

コウノトリのうた(二部抜粋)

ながい ながい じかんをかけて  
にんげんたちが きをうえました  
にんげんたちが のうやくを  
つかうのをやめました  
にんげんたちが さかなのすめる  
かわをつくりました  
そして ついに  
コウノトリが かえってきました  
ながい むねはる

# コウノトリと羽を休めて

秋の会員研修バスツアー(豊岡・久美浜の旅)



自分へのご褒美にベルトを買いました!

15年の先輩から初参加の私までを大きな輪にいられて下さって、お陰様でとても楽しい旅でした。  
また皆様で行きましょう!  
会員活動委員の皆さんありがとうございました。

取材 久我 和子

豊岡では街を上げて1955年より保護活動を展開し、2005年放鳥を開始、「コウノトリの郷公園」で今では巣立ちまで始まりました。

豊岡の特産品である革製品のお店を覗いて、昼食は久美浜温泉、ここはもう日本海。あちらの方言で言うところ「がりやあうみやあもん」すごく、美味しい事!

食後は全員が舞台上に上がって大合唱です。これは今までになかった盛り上がり。

「さすがだなあ」と思ったのは、どなたも時間に遅れることなく気持ちよく過ごせたこと。10年、



↑コウノトリの巣の後で

大合唱に大盛り上がり→



## 編集後記

昨年は台風、異常気象により各地で浸水、土砂災害が多発しました。また、御嶽山の大噴火により多数の犠牲者がでるなど暗いニュースが続きました。

一方明るいニュースでは、五年後の東京五輪開催ムードや、仁川アジア大会でのメダルラッシュなどで盛り上がりました。

また、10月出雲大社で、高円宮家典子さまと出雲大社権宮司の千家さんの結婚式が目出たく行われ祝福されました。

平成27年『はつらつ芦屋』は20号を迎えようとしています。記念すべき年と成ることを願っています。

佐々木廣明



新広報委員  
梶原 健司  
(会員番号 1907)



新広報委員  
久我 和子  
(会員番号 2251)

# はつらつギャラリー

## 第28回 芦屋市民絵画展

毎年秋、恒例の芦屋市民絵画展が、昨年9月3日から7日迄市民センターで開催され、芦屋市シルバーからも4会員が出品されました。その力作を紹介します。



我が家のアマリリス  
神吉 行彦(会員番号1419)



アギア・トリアダ修道院(ギリシャ)  
北條 時雄(会員番号1194)



紅葉の溪谷  
鈴木 一生(会員番号1039)



モンステラと果物  
前田 穰(会員番号1488)